

## 2023年度

科目名称	キャリアデザイン
授業コード	A0181
英語名称	Carrier Design I
学期	2023年度後期
単位	2.0
担当教員	嶋田 泰典 (共通・教職資格系科目・卒業生発行区分)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<p>昨今の社会情勢の大きな変化の中で、生き方や働き方はますます多様化している。そのような中で、一人一人が自分自身の人生や働き方を主体的にとらえ、能動的にキャリアを形作っていくことが重要になっている。</p> <p>キャリアデザイン では、「キャリアデザインの必要性」について理解を深めるとともに、キャリアデザインを考える上で重要な「ライフキャリア」「ビジネスキャリア」「自己理解」の基礎を理解・考察することで、生涯にわたってキャリアを形作っていくための礎(いしづえ)を築くことを目的とする。</p> <p>授業では、講義によるインプットだけでなく、個人ワークやグループワークを通じた能動的に考え・学ぶ機会も提供し、キャリアデザインに対する理解を深めて行く。</p>
科目に関連する実務経験と授業への活用	<p>担当講師 嶋田泰典は、日系電機メーカーで一貫して人事・総務の仕事に携わり、社員にとどまらず学生も含めた社内外とのキャリア相談の経験を有している。また、日系電機メーカー退職後、外資系コンサルティングファームで社外の顧客に対するPJワークに従事するとともに、Employee Experience (EX/従業員が企業や組織の中で体験する経験価値) 向上に向けた推進メンバーとして、キャリア相談をはじめとした各種施策の立案・推進を行っている。</p> <p>これらの経験を通じて、学生のみなさんが「人生」や「働く」ということについて自ら主体的にデザインしていく上で必要なマインドや考え方をお伝えし、講義やワークを通じて共に考える場を提供していくことができる。</p>
到達目標	<p>建学の精神に基づき、高度な専門的知識と実践的な問題解決能力を備え、倫理的な判断力を有した社会で活躍し続ける人材を育成することを目的とする。</p> <p>(1) キャリアデザインとは何か/なぜ学ぶ必要があるのかを理解・考察する。  (2) キャリアデザインを考える上で重要なライフキャリア・ビジネスキャリア・自己理解の基礎を理解する。</p>
計画・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 オリエンテーション (授業の概要や、今後の進め方について理解する)</li> <li>・第2回 キャリアデザインとは何か/なぜ学ぶのか(1)</li> <li>・第3回 キャリアデザインとは何か/なぜ学ぶのか(2) (キャリアデザインとは何で、なぜ学ぶ必要があるのかを社会情勢の変化も踏まえ理解・考察する)</li> <li>・第4回 キャリアと発達理論(1)</li> <li>・第5回 キャリアと発達理論(2) (キャリアデザインについて、生涯発達の視点から幅広く理解・考察する)</li> <li>・第6回 キャリアとウェルビーイング (ウェルビーイング(幸福)という観点でキャリアデザインを理解・考察する)</li> <li>・第7回 モチベーション理論 (各種モチベーション理論を理解し、自身のモチベーションを考察する)</li> <li>・第8回 ライフキャリアとの対峙 (ライフキャリアを人生全体として捉え、どのように向き合っていくべきかを考察する)</li> <li>・第9回 キャリアデザインと自己肯定感 (キャリアを主体的にデザインしていく上で重要となる自己肯定感について理解・考察する)</li> <li>・第10回 キャリアと多様性(ダイバーシティ)/ジェンダー (多様性(ダイバーシティ)/ジェンダーとキャリアにおける関係性を理解する)</li> <li>・第11回 自己理解(1)</li> <li>・第12回 自己理解(2) (「自己の理解」「他者からの理解」「アセスメントツールの活用」を通じ、自己の特性や適性を理解する)</li> </ul>

## 2023年度

計画・内容	<p>る)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第13回 業界分析の基礎 (興味関心のある業界・職業に関する分析を行い、業界・職業の現状を理解・考察する)</li> <li>・第14回 キャリアモデルの探索 (興味関心のある業界・職業で働く人について調査し、働く上でのやりがいや責任について理解・考察する)</li> <li>・第15回 キャリアデザイン のまとめ (これまでの授業の振り返り)</li> </ul>
授業の進め方	本授業では、講義に加えて個人ワーク、グループワークを行いながら進める。毎回、授業の最後には振り返りシート(リフレクションシート)の提出を課し、授業で学んだこと、疑問に感じる事、気づきなどを振り返る機会とする。
能動的な学びの実施	毎回、授業の最後には振り返りシート(リフレクションシート)の提出を課す。振り返りシート(リフレクションシート)に書かれた質問・疑問について、次回以降の授業のなかで取り上げ、教員と学生あるいは学生同士の意見交換を行う。グループワークのなかで、コミュニケーションに力、特に聴く力・伝える力を醸成する。
授業時間外の学修	予習復習で60時間相当。授業の振り返りやホームワークなどを実施する。
教科書・参考書	授業時に資料を配布し、教科書は用いない。参考図書は随時示す。
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業ごとの振り返りシート(リフレクションシート) 50%</li> <li>・課題レポート 25%</li> <li>・グループワークへの参加状況 25%</li> </ul>
課題等に対するフィードバック	各講義の中で、前回の講義に対する質問、学生が抱いたキャリア全般についての疑問に回答する。それに加えて、必要に応じて他の学生も交えた意見交換などを行い、他者と協働で考える機会を持つ。
オフィスアワー	講義開始前、講義終了後に講義室で対応する。また、講義ごとに提出を求める振り返りシート(リフレクションシート)に記載された質問や疑問については、講義の中で回答する。 窓口教員：三尾 真琴 先生
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアデザイン は、キャリアについて初めて学ぶ学生を対象としている</li> <li>・キャリアデザイン は、ビジネスキャリアを主テーマとして取り上げるが、キャリアデザイン の授業内容(ビジネスキャリア)も一部取り上げる。</li> </ul>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方：非対面となった場合は、Zoomを利用して講義、個人ワーク、グループワーク(実施可能な場合)を交えて進める。</p> <p>成績評価方法と基準：基本的には対面の場合と同様。</p>